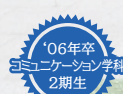




自分の将来、
絶賛模索中です…。

これなんだ！と
思い込んで進むこと！



棚田恭子さん

仁愛大学卒業後、福井テレビ開発にて、テレビディレクターとして活躍。昨年、「日々好日〜河和田のお達者4兄弟〜」で第44回放送文化基金賞テレビエンターテインメント部門優秀賞を受賞



村上友麻さん

勝山から毎日1時間20分かけて通学。ゼミ活動、就職活動などに積極的に取り組む

仁愛大学同窓会『世灯会』がお届けする「卒業生ダイアログ」。今回はテレビ制作会社で活躍する先輩と、自分の将来を模索する後輩による対談をお届けします。

棚田 村上君は、何期生なの？

村上 僕は17期生です。棚田さんは2期生になるんですね？

棚田 在学中は大学が開校したばかりで人も少なかった。卒業後に大学に来るたび、学生の多さと熱さに驚いています。3年生ということはもう自分の将来のこととか考えてる？

村上 少し焦りを覚えるほどです(苦笑)。この夏にはインターンシップに参加してみようと市役所とか、金融系とか何社か申し込んでいます。仕事のイメージは持っているのですが、実際に体験しなければ見えてこないことも多いと思うので。

棚田 ゼミ活動もしてるの？

村上 ゼミでは自分たちでイベントを企画して進めているところです。タイトルはズバリ、『でっかいカルタで大合戦』。たけふ菊人形開催期間中に中央公園でB1サイズの特大カルタで大会をしようというもの。オリジナルカルタのデザインや、参加チームのユニフォーム制作などやるのがいっぱい。運営資金も市役所に「越前市地域貢献活動支援補助金」を申請して確保したり。けれど、学生という立場で社会と関わっている実感があって楽しいです。

棚田 それは貴重な経験だね。

村上 棚田先輩がテレビ制作会社に就職しようと思ったきっかけってあるんですか？

棚田 私の場合は村上君と真逆かもしれない。小さいころから絶対に映像を作る仕事したいという思いがあって、小中高も放送部に所属。仁愛大学に入ってから、開学ドキュメンタリー番組制作のために1期生を追いかけて撮影している福井テレビのクルーを、私が追いかけていた(笑)。

村上 それは凄いですね。自分なんて、将来何をしたいか、絶賛模索中です。

棚田 大いに悩んだらいいと思う。インターンシップも含めて、たくさん経験するのもいいと思う。それで、おぼろげながらやりたいことが見えてきたらもう迷わないこと。どんな仕事でも「これは自分に向いていないかもしれない」と思うことが絶対にある。そればかりに目を向けていたら前に進めなくなる。「向いていない」を探すのではなく、「これが自分の生きる道！」と思いつくことが大事なんじゃないかな。

村上 なるほど。参考になります！

棚田 とにかく今は経験を積むこと。テレビ制作のアルバイトも募集してるから良かったら連絡してきて(笑)。

棚田さんがディレクターとして携わる「日本全国福むすび」(福井テレビにて毎週金曜19:30〜)の話題でも盛り上がった



令和元年12月1日(日)
5期生卒業10周年パーティを開催します！

卒業して10年を迎える5期生の皆様と教職員の方々をお招きしてパーティを開催します。懐かしい面々との楽しい時間をお過ごしください。詳細は今後同窓会HP等でお知らせしていきます！

f 『世灯会』ページに「いいね」👍を！

『世灯会』Facebookページをご覧ください！イベントや同窓生の今、そして現在の大学の情報などを日々更新しています。



www.facebook.com/jindai.dousoukai



〒915-8586 福井県越前市大手町3-1-1
仁愛大学同窓会「世灯会」事務局

E-mail dosokai@jindai.ac.jp www.jindai-dousoukai.jp/